

七十八代 灰

清姫伝説

平安の世、紀伊の山里。宿の支度をしていた清姫は、訪れた旅の修行僧・安珍に一目惚れをし想いを伝える。しかし安珍は修行の身ゆえ、その想いに応えることはできなかった。安珍への情念は恐ろしい狂気へと転じ、清姫は大蛇へと姿を変え安珍を追う。駆け込んだ道成寺、鐘の中に逃げ込んだ安珍。

清姫の想いは愛だったのかー
それとも、執念だったのかー
千年を超えて語り継がれる伝説が今、よみがえる

清姫

宿で働く清姫は、安珍に恋をする。しかしその想いは届かず悲しみにくれた清姫は地神の力によって大蛇へと変貌する。



巫女

道成寺で働く巫女、街の平穏を祈り日々を過ごす。祈りの力で侍と共に大蛇と対峙する。



散楽隊

各地を巡り、祭りや法会の折に村や寺を訪れ、芸を披露する旅の一座。踊りや音楽などで人々を楽しませる。



地神

この土地を治める神様で、時にはお忍び姿で街の様子を伺いに行く。ある日、悲しみにくれた清姫を発見し神の持つ不思議な力を授ける。



安珍

清姫の想いに応えられず、大蛇となった彼女に追われてしまう。しかし、最後には罪悪感に苛まれる清姫を救おうと優しく説得する、物語の鍵を握る修行僧。



侍

普段は平穏を願う町人でありながら、大蛇の脅威から道成寺と安珍を護るために鎧を身にまとい、勇敢に弓を構えて、大蛇との激闘に挑む者たち。

